

ジダンゴ山—檜岳—鍋割山

T・H

期 日：9月14日（日） 単独

天候：晴れ

コース：寄バス停/7:17—ジダンゴ山/8:17—旧秦野峠/9:25—檜岳/11:50—雨山峠/12:40—鍋割山/14:10—小丸/14:48—林道/15:50—大倉バス停/16:45



まだ誰もいないジダンゴ山山頂

これから向かう

旧秦野峠—伊勢沢ノ頭、檜岳山稜



今回は檜岳山稜が目的にてダルマ沢ノ頭は登らず林道をショートカットして林道秦野峠へ



そして旧秦野峠より、伊勢沢ノ頭へは尾根沿いの旧登山道を行くが踏み後は薄い



ヤセ尾根が少しあり
多少の急登後
雑草に覆われて踏み後が
全く見えない尾根に行く



上を目指して行くのみ
今のところ
青空が広がって気持ちが良い

北側には
道志の向こうに御正体山—今倉山の
双耳峰が見える





伊勢沢ノ頭ピーク手前の
1086m地点
雑草で膝まで埋もれている中を
掻き分けて上に行く

現在の登山道ルートと合流する
少し踏み後は濃くなるが、それでも不鮮明なルート



丹沢湖が細長く見える稀なビューポイント
大野山、不老山は
正面



檜岳山稜では最高峰の伊勢沢ノ頭
この裏側に山神峠へのルートがある



檜岳までは誰にも出会えず



まだ新しい
崩壊地を見ると、やはり
山は生きていることを実感する





雨山手前付近からハイカーが登ってくる
寄バス停ー雨山峠コースからでは
この時間帯となるのか

三つのパーティとすれ違う



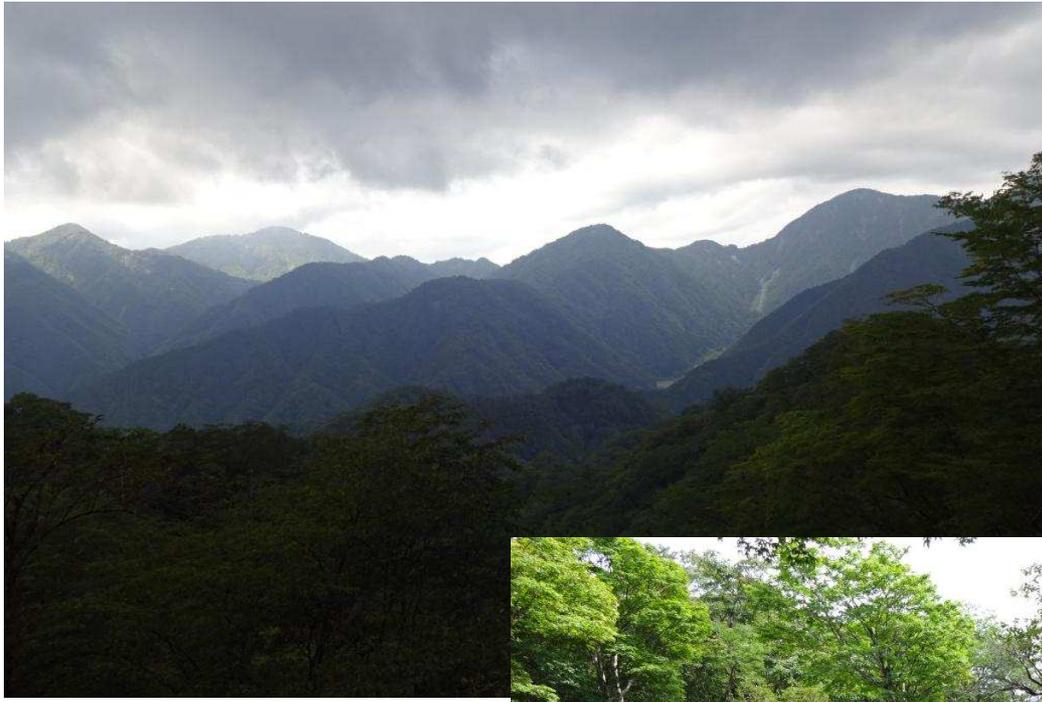
雨山峠では鍋割山からの親子連れ（父子）
と出会う

ここから雨山橋へ向かうとのこと



本日より一番の楽しみだったクサリ場
最後の2段のクサリ場、上からは雑草で下が見えない





一時怪しい雲に
覆われてしまう
檜洞丸から蛭ヶ岳への
稜線

気持ちの良い
鍋割山、山頂直下の草原上の尾根



鍋割山の三叉路で見つけた花
何とかホトトギス

山頂にはまだ多くのハイカーがいる





小丸尾根はジグザグに安心して降りられる登山道である（鍋割山荘の草野さんのおかげ）



小さな子供連れも多く下山道としていた



西山林道は二股までマイカーで入れたのだが現在は大倉へのところでゲートができて入れなくなっていた（結構なことだ）

大倉バス停にはバス待ちで行列ができていた